

JICA だより



村岡啓道さん(54)

JICA中国所長

東広島市

信頼で世界をつなぐ。これはJICAのビジョンである。新型コロナウイルス禍により人々の往来は滞り、また、世界はロシアのウクライナ侵攻やトルコの震災といった自然災害に直面しており、「つながり」を回復させることの重要性が認識されている。こうした状況の下、日本を含めた国際社会の平和と発展を進めるためにはパートナーと手を携えて信頼を醸成して

いくことが必要である。

一つの例を挙げよう。JICAは東南アジア諸国連合(ASEAN)と大洋州の各国港湾関係者からなる「JICA港湾アルムナイ」を設立し、会合を開催している。これは円滑で開かれ

「つながり」回復に喜び

た国際的な港湾運営を目的に、日本の民間企業を含めた関係者のネットワークを強化し、直面するさまざまな課題への対応を協議する集まりである。



仙台塩釜港を視察する「JICA港湾アルムナイ」の参加者 (2月)

私はコロナ禍で3年間開催できなかった会合の再開に向け、昨年初夏より準備に奔走。調整に苦労しつつも粘り強く対話を続けた。どれだけの参加があるか不安が残る中、今年2月、メンバー19カ国のうち18カ国から26人を迎えて実現にこぎ着けた。多くの日本企業の参加も得ることができた。参加者は「つながり」の回復を喜び、感謝の言葉を贈ってくれた。こうした「つながり」の回復は中国地方各地でも始まりつつある。今また日本を訪れる外国人は増加しており、日本にとっても「多文化共生」「共創」がますます必要な時代となった。JICA中国は途上国からの研修生・留学生の受け入れ、海外協力隊の派遣、開発教育支援、中国地方と途上国の企業の連携支援などを行っている。早期に活動のレベルをコロナ前に戻し、さらに発展させ、地域と途上国の「つながり」の強化に貢献し、双方の発展を目指したい。